ウメモト インフォメーション

２０21年　６　月　９　日　　担当　小松

米原油先物が清算値で70ドル突破、米国務長官の発言で

［ニューヨーク　８日　ロイター］ - 米国時間の原油先物相場は上昇し、米原油先物が清算値で７０ドルを突破した。ブリンケン米国務長官の発言を受け、イランによる追加供給は早期に実現しないという見方が広がった。

ブリンケン長官は米上院委員会の公聴会で、イランと米国が核合意に復帰したとしても、「イランが行動を変えない限り、トランプ前政権が導入した制裁を含む数百に上る対イラン制裁は維持される」と明言した。

北海ブレント原油先物の清算値は０．７３ドル（１％）高の１バレル＝７２．２２ドルと、２０１９年５月以来の高値を付けた。

米ＷＴＩ原油先物の清算値は０．８２ドル（１．２％）高の７０．０５ドルと、１８年１０月以来の高値。

引用記事　日経新聞　ロイター　化学工業日報　燃料油脂新聞

ウメモト インフォメーション

２０２１年　６　月　９　日　　担当　小松

新社長に聞く

コスモ石油

鈴木 康公 氏

「安全」最優先に競争力向上

◆…激変する事業環境のなか就任しました。

「経済産業省などが取りまとめた石油製品需要見通しによれば、ガソリンの内需は２０２５年度まで年率２・４％のペースで減少する。需要減少が少し速まる可能性もわれわれは考慮せねばならない。幸い、提携先である石油販売大手のキグナス石油への供給も昨年に本格化した。足元の事業環境はよいが、設備の経年劣化やカーボンニュートラルに向けた対応で設備投資も増えていくだろう。市況の今後は見通しがたいなか、石油精製企業としての競争力を今まで以上に高めたい」

◆…コロナ禍の影響は。

「昨年の緊急事態宣言では石油製品需要が2割ほど落ち込んだ。足元は変異株の動向が不透明だが、製品需要の落ち込みは昨年に比して大きくない。加えて、当社のジェット燃料は貨物向けがメインだ。コロナ禍が直撃した旅客向けとは異なり、影響が小さい。とは言え、灯油需要が減少する夏場には、ガソリンの輸入が今年も必要となる可能性もあるとみている」

◆…製油所の現状は。

「三大都市圏に製油所を持つ強みを生かしていきたい。堺製油所（大阪府堺市）は重質油分解装置（コーカー）など投資成果の回収を進める。国際海事機関（ＩＭＯ）の新規制で需要が期待されていた低硫黄Ｃ重油は市況が悪く効果をあまり享受できていない。だが、堺では四日市製油所（三重県四日市市）の高硫黄Ｃ重油も分解するなど、高稼働を継続して操業のノウハウを蓄積していきたい。千葉製油所（千葉県市原市）は、合わせて１００万㌧を超える能力を持つエチレンセンターが隣接するため、今後もインテグレーションを進める。グループ会社である丸善石油化学とは、原料調達や生産計画の枠組みである線形計画法（ＬＰ）の統合も進めている」

◆…社長としてどのようなテーマに注力しますか。

「最優先で取り組むのは安全だ。東日本大震災で生じた千葉製油所の事故は当社の教訓。『もう安全になった』と思った瞬間、すでに安全ではない。製油所の競争力を高めるのと同時に、これまで以上に保安水準も高めていきたい。千葉製油所ではスーパー認定事業所の認定もこのほど取得できた」

「ホールディングスのなかで、コスモ石油はキャッシュカウのポジションとなる。大方の投資は一区切りし、トラブルなくフル稼働して収益をあげ、風力事業や化学事業など成長事業への投資資金を稼ぐ。今後の2年間は、需要の見通しを見極めつつ次期中期経営計画の最適な体制を考える時期となるだろう」

◆…カーボンニュートラルに向けた対応は。

「２０３０年までは既存技術でどこまで対応ができるかが重要。それより先は新たなイノベーションを育てる必要がある。アンモニアや水素などさまざまな技術があるが、きちんと社会実装まで進めることが重要だ。当社も廃プラスチックのケミカルリサイクルの実証検討を石油エネルギー技術センター（JPEC）と進めている」

◆…社員へのメッセージは。

「誠実に、当事者意識を持ち、そして明るく仕事に取り組んで欲しいと思う。組織文化を変えるうえでは『有言実行』も重要だ。軋轢を恐れず議論し、決まった事については皆で一丸となり取り組もうと話している」

（八巻高之）

横顔

「Ｏｉｌ＆Ｎｅｗ」を掲げた現在の中計には経営企画部長として携わった。コスモエネルギーホールディングスの中核を担うコスモ石油の社長として、中計の完遂を狙う。座右の銘は「誠実」、さらに「人は生きているのではなく生かされている」という想いも大切にしている。趣味はゴルフ。本格的に再開するのが楽しみだと顔をほころばせた。

引用記事　日経新聞　日本総合研究所　ロイター　化学工業日報

ウメモト インフォメーション

２０２１年　６　月　８　日　　担当　小松

ファミマ、パスタ皿をバイオマスプラ配合に

ファミリーマートは7日、パスタ皿の一部を植物性の原料を配合した容器に変更すると発表した。石油由来のプラスチック製から切り替え、今後は他の商品にも拡大する。プラスチック廃棄物を減らし環境負荷を抑える。

ファミマが導入するのは、使用済みの食用油など再生可能な原料を使った「バイオマスポリプロピレン」。親会社の伊藤忠商事が20年9月にオーストリアの大手樹脂メーカーから販売権を取得し実用化につながった。まず関東地域で8日から「大盛　明太子スパゲティ」（450円）など4商品で切り替える。

ファミマは環境に配慮した包装材や容器への切り替えを進めている。環境配慮型の素材の使用割合を2030年までに6割にするとしている

引用記事　**日経新聞**　**ロイター**

ウメモト インフォメーション

２０２1年　６　月　５　日　　担当　小松

ユーグレナ、飛行機にミドリムシ由来燃料

ユーグレナは、同社が開発を手掛けていたミドリムシ由来のバイオジェット燃料を初めて飛行機に導入した。これまで車や船舶などにバイオディーゼル燃料を導入していたが、飛行機にバイオジェット燃料を導入したのは初めて。同社は2025年までにバイオ燃料の商用プラント稼働を計画している。プラント稼働に先駆け、バイオ燃料の導入実績を増やし、対外的にアピールしたい考えだ。

バイオジェット燃料を導入したのは、国土交通省が保有する飛行検査機。4日、羽田空港から中部国際空港間を飛行する飛行検査機に使用された。同日、赤羽一嘉国交相が羽田空港を視察しており、バイオジェット燃料の導入事例としてユーグレナの燃料が使用された。政府が保有する航空機に国産のバイオジェット燃料が使用されるのは初めてとなる。

ユーグレナは3月、バイオジェット燃料が完成したと発表。21年内の航空機への導入に向け、航空運送事業者や航空局などとの最終調整に入るとしていた。バイオジェット燃料完成後、初の導入実績となる。

ユーグレナのバイオ燃料は、石油などの化石燃料と同じく、燃焼時に二酸化炭素（CO2）を排出する。ただ、原料であるミドリムシや使用済み食用油の原料である植物などは成長過程でCO2を吸収する。そのため、CO2の排出量を実質ゼロとみなすことができる。

ユーグレナはバイオ燃料製造の実証プラントを横浜市で稼働させる。25年には、実証プラントの約2000倍の生産能力をもつ商用プラントを稼働させる目標を掲げる。国内での導入実績を積み上げ、将来的に高まるバイオジェット燃料の需要を捉える。

引用記事　**日経新聞**　**ロイター**　**化学工業日報**

ウメモト インフォメーション

２０２１年　６　月　８　日　　担当　小松

竹中工務店／超速硬コンクリを開発／PCa部材を現場で短時間製造

ＰＣａ部材の蒸気養生

つり上げ取り付け

竹中工務店は、プレキャスト（ＰＣａ）コンクリート部材を現場で製造し、当日中に取り付けできる超速硬コンクリートを開発した。２０１４年に開発した工場製造用の「ハイファード」を改良。従来と同じ速硬性混和材を使用する。生コンクリート工場から現場までの移動時間を考慮し一定の流動性を保つ化学混和剤を開発した。同一型枠で１日２回転の部材製造が可能になり生産効率が倍増。狭小地にも使える。

埼玉県加須市豊野台で施工中の物流施設に初適用し効果を確認した。現場製造用に改良した超速硬コンクリートは「Ｓｉｔｅ－ハイファード」。超速硬混和材や化学混和剤は竹中工務店とデンカ、竹本油脂が開発を手掛けた。化学混和剤の改良によりコンクリートの速硬性を保ちつつ生コン工場での製造、運搬が可能な流動性を確保した。

生コン工場で超速硬混和材入りのコンクリートを練り混ぜ、現場に運搬し型枠に流し込む。独自の蒸気養生システムで３時間程度養生すれば、つり上げに耐えられる強度が発現する。

最短で当日中に部材を取り付けることができる。同一型枠で１日２回転の部材製造が可能になり、型枠数減少によるコスト削減や工期短縮に貢献する。部材のストックヤードも削減でき、従来は難しかった狭小地にも使える。工場の供給能力やトラック輸送の制約がなくなり、必要な時に自由な形状、大きさの部材を製造できる。

適用した物流施設は「（仮称）加須物流センター」。設計・施工を竹中工務店が手掛ける。ＲＣ一部Ｓ造４階建て延べ１２万１４１８平方メートルの規模。超速硬コンクリートはランプ部腰壁に３６８立方メートル使用。通常に比べ作業工程が約３割短縮できたという。生産性向上のため積極的に適用を増やしていく考えだ。

引用記事　　日経新聞　　日刊建設工業　　化学工業日報　　燃料油脂新聞

ウメモト インフォメーション

２０２１年　６　月　８　日　　担当　小松

S&P Global Platts

プラッツ ウィークリー・サマリー

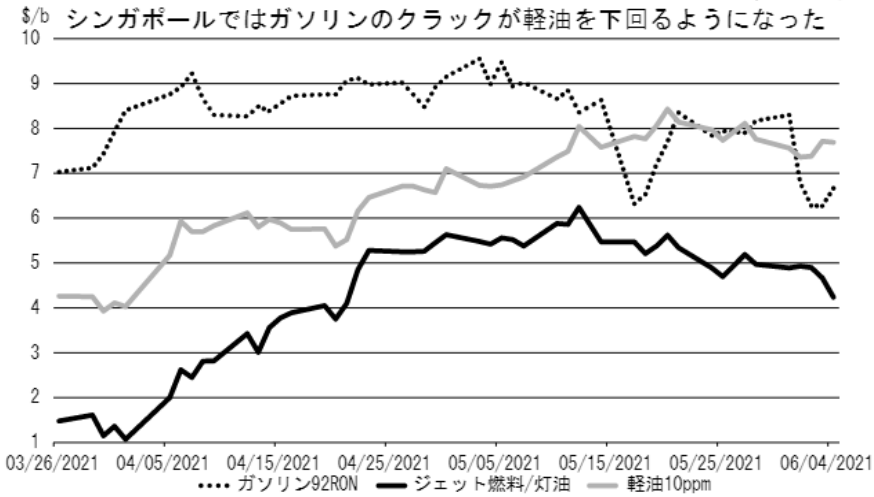
毎週火曜日掲載 週間取引概要（2021.5.31~6.4）

プラッツ陸上価格　（単位：円/㎘）

	神奈川		千　葉		中　京		阪　神	
ガソリン	63,100	1,700	63,100	1,900	63,100	2,400	63,100	2,200
灯　油	64,500	2,500	64,500	3,200	64,500	2,500	64,500	2,500
軽　油	65,600	2,800	65,600	3,100	65,100	2,600	65,100	2,600
A重油(0.5%)	63,400	1,900	63,400	2,000	63,400	1,900	63,400	1,900
ＬＳＡ重油	63,900	1,900	63,900	2,000	63,900	1,900	63,900	1,900

（金曜日価格、前週比）

（過去１週間：月～金）



プラッツ・ウィークリー・コメンタリー

陸上市況：元売の基準価格は㎘1500円上がり、スポット相場は大きく底上げされた。次の基準価格（適用期間10～16日）も2000円上がる見通しとなっているため、足元の相場では売らずに販売を先送りしている卸業者も多い。ガソリンは緊急事態宣言が発出されている影響で需要が弱含んでいるものの相場は支えられ、プラッツの評価は地域を問わずＥＮＥＯＳ基準価格（６万3000円）を上回ってきた。仮需が発生して荷動きが活発化しているため、需給がバランスしているようにも映る。しかし停止していた製油所が再稼働することで供給が増え始めており、今後ガソリンの需給が緩むとの見方は根強い。軽油も経済活動の低迷によって需要は弱く、在庫も高くなってきた。足元の相場は先高観測の強まりで切り上がっているが、今月後半から需給バランスの緩みが顕著になり、価格競争の激化が市況を低迷させると予想する声が複数の市場参加者から聞かれた。

サウジアラムコは３日、７月積みアジア向けアラビアンライト原油の公式販売価格（ＯＳＰ）の調整金を前月から㌭0.2㌦（㌭140円）引き上げ、ドバイ原油とオマーン原油の月間平均価格に対して1.9㌦のプレミアムとした。この上昇分は１カ月のタイムラグを経て、８月初めの元売基準価格に加味されそうだ。シンガポールではガソリンのクラック・スプレッドが軽油を下回るようになった（グラフ参照）。新型コロナウイルスの感染者が再拡大したことで東南アジアの複数の国がロックダウン（都市封鎖）などの対策を強化しており、域内のガソリン需要が減退するとの見方につながっている。一方、軽油には新たな強材料が浮上してきた。中国政府は軽油の混合基材となるＬＣＯ（接触分解軽油）の輸入に対して、６月12日から新たに関税を課す方針だ。これによって中国によるＬＣＯの輸入量が減り、国内向けの供給が増える可能性が高くなった。こうした流れで中国からの軽油輸出が減るとの観測が強くなり、クラック・スプレッドは７㌦台を維持している。

（無断転載を禁ずる）

引用記事　　日経新聞　　化学工業日報　　燃料油脂新聞　　ロイター